

平成17年度

私立短大学生生活指導担当者研修会
実施要領

短大協発第17108号
平成17年10月11日

理事 長 殿
学 長 殿
学生生活指導担当教員 殿
学生部課関係教職員 殿
学寮関係教職員 殿

日本私立短期大学協会
会 長 川 並 弘 昭
学生生活指導研究委員会
委員長 中 野 正 明

平成17年度「私立短大学生生活指導担当者研修会」開催について（通知）

標記の研修会を別紙実施要領の通り開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学の学生生活指導担当教職員並びに学寮関係教職員の方々のご参加を賜りたく、ご通知申し上げます。

同封書類

1. 平成17年度私立短大学生生活指導担当者研修会実施要領
2. 研修会参加申込書
3. グループ討議に関するアンケート(個人票) 3通
4. 参加費振込み用紙(4枚綴り)

参加申込み締切り期日 平成17年11月2日(水)

今、求められる学生支援のあり方とは

いよいよ今年度から短期大学基準協会が実施する第三者評価が始まり、学生への教育指導・支援についても、厳しい評価を受けることになった。

昨年度に引き続き、本委員会では、従来の学生に関わる教務・就職・学生指導など、タテ割りで行われていた指導体制の問題点を確認し、学生から見て一元化された体制づくりに向けて、どのような行動を起こさなければならないのかを議論してきた。キャンパスライフ全般を通した総合的な学生指導のあり方を教職員が一体となって推進するにはどうあればよいのか。どのような意識改革が必要なのか。我われ教職員一人ひとりの自覚と研鑽が問われている。

もちろん、その議論を進めていくには、今の学生が何を考え、大学に何を求めているかを把握し、適切に判断・対処する必要がある。昨今、大きな社会問題となっているフリーターやニートの問題も、大学教育に課せられた大切な使命であり、卒業後、彼らがどのような進路を歩もうと考えるのか、そのための支援は、就職関係部署など特定の部門だけに任せられたものではなく、学生生活を支援する我われ全教職員が組織的にあらゆる機会を捉えて積極的に考えさせる場を提供することが必要となっている。学生自らが自分の将来について真剣に向き合い、大学生活をいかに意義のあるものにできるか、そして自信をもって自分の進むべき路に踏み出せるかは、我われ教職員のサポート如何である。そのためには何より、学生にとって頼れる学生支援体制の確立と教職員のスキルアップが急務であることは言うまでもない。

本年度の研修会は以上の趣旨により設定された。参加者各位の実りある研鑽を切にお願いしたい。

実施要領

- 開催期日 平成17年12月5日(月)～7日(水)の3日間
但し、12月7日(水)は、短大見学会(希望者のみ)
- 研修会場 12月5日(月)～6日(火)：京都東急ホテル
〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル柿本町580番地
電話 075(341)2411 (後掲案内図参照)
- 短大見学会場
- | | | |
|----------------------------|----------------------------|--------------|
| (1) 大谷大学短期大学部 | 〒603-8143 京都市北区小山上総町 | 075(411)8119 |
| (2) 京都女子大学短期大学部 | 〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 | 075(531)7057 |
| (3) 京都光華女子大学短期大学部(学寮施設を含む) | 〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38 | 075(325)5319 |
| (4) 龍谷大学短期大学部 | 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 | 075(645)7889 |
- 参加資格 私立短期大学の理事長・学長 および 学生生活指導担当教職員
並びに 学寮関係教職員等で、定員300名に達し次第締切ります。
- 参加経費 全日程で1人30,000円。(参加費、情報懇談会費、昼食代等を含む)
- その他
- (1) 12月5日(月)の研修会場(京都東急ホテル)での受付は、午前9時15分より、2階ロビーにて行います。
 - (2) グループ討議は、運営委員会にてグループ分けを行います。
なお、グループ討議を円滑に進めるために、参加者一人ひとりにより、前以って別紙の『グループ討議に関するアンケート』(個人票)にご記入のうえ、事務局までご提出くださいますようお願いいたします。
 - (3) 12月5日(月)の研修終了後、午後6時より「情報交換・ネットワークの会」を開催いたします。各自、名刺をたくさんお持ちください。
 - (4) 12月7日(水)は、午前10時～正午まで「短大見学会」を開催いたします。上記の4短期大学のいずれかに見学を希望される場合は、参加申込書にその短期大学名を必ず明記してください。
なお、「短大見学会」は、現地集合、現地解散になります。
後掲のそれぞれの短期大学の所在地をご確認の上、午前10時までに各集合場所までお越しください。
-

平成17年度 運営委員 (指導員)

中野正明 華頂短期大学 学長 (委員長)
高橋節子 郡山女子大学短期大学部 家庭寮主任
大橋伸次 国際学院埼玉短期大学 学生課長・助教授
下平武治 江戸川短期大学 学科長・教授
幸田和也 聖徳大学短期大学部 学生課長
齋藤修三 青山学院女子短期大学 助教授
堀美稚 大妻女子大学短期大学部 寮監長
島貫憲夫 東海大学短期大学部 事務室長
荒井英行 東京農業大学短期大学部 学生生活支援課長
村本和世 日本体育大学女子短期大学部 教授
宮本朱 文化女子大学短期大学部 学生課長補佐
林寛美 文京学院短期大学 キャンパスディレクター・教授
原田洋子 小田原女子短期大学 学務グループ厚生チームチーフ
梅村静夫 目白大学短期大学部 学生課長
榎木孝 岐阜聖徳学園大学短期大学部 学生課長
藤井俊江 愛知江南短期大学 会計課長
鬼頭昭次郎 名古屋短期大学 学生課長
坂部寿美代 華頂短期大学 学生支援センター学生生活課長
(順不同・敬称略)

研修内容

開会挨拶 学生生活指導研究委員会 委員長 中野正明氏
華頂短期大学 学長

基調講演 **私学だからこそ学生を中心に据えた大学改革**
学校法人立命館 理事長 川本八郎氏

川本八郎(かわもと・はちろう)氏 プロフィール

1934年10月	石川県生まれ
1958年 3月	立命館大学法学部 卒業
1958年 4月	学校法人立命館 就職
1973年 7月	立命館大学 学生部学生課長
1978年 6月	立命館大学 総務部総務課長
1983年 4月	立命館大学 総務部長
1984年 4月	学校法人立命館 常務理事(総務・財務担当)
1989年 1月	学校法人立命館 専務理事
1995年11月	学校法人立命館 理事長(現在に至る)

調査報告 **学生生活支援に関する現状・対応についての実態調査等 報告**
学生生活指導研究委員会 委員 林 寛美氏
堀 美稚氏

セッション **今、改めて「真に豊かなキャンパスライフ」の実現を目指して**
<事例発表 1 >
タテよこ交流に始まるサービス学習支援
産能短期大学 学生総合サービスセンター長 渡辺卓也氏
<事例発表 2 >
新入生オリエンテーションにおける学生との連携について
名古屋短期大学 学生課係長 内藤智徳氏
<コーディネーター>
名古屋短期大学 学生課長 鬼頭昭次郎氏
青山学院女子短期大学 助教授 斎藤修三氏

グループ討議 **今、求められる学生支援のあり方とは**
グループ分けは運営委員会にて行います。

セッション

第三者評価を受けて - 学生生活支援を中心に -

<話題提供>

聖徳大学短期大学部 学生課長	幸 田 和 也 氏
東海大学短期大学部 事務室長	島 貫 憲 夫 氏
東京農業大学短期大学部 学生生活支援課長	荒 井 英 行 氏

<コーディネーター>

江戸川短期大学 教授	下 平 武 治 氏
日本体育大学女子短期大学部 教授	村 本 和 世 氏

セッション

職業と人生を意識させる学生生活の構築とその支援方法

<講演>

東京農業大学 教授・前学長 (農学博士、造園学・環境計画・景観政策)	進 士 五 十 八 氏
---------------------------------------	-------------

進士五十八(しんじ・いそや)氏 プロフィール

1944年 京都生まれ
1969年 東京農業大学農学部 卒業
1987年 東京農業大学 教授
1993年 東京農業大学 総合研究所所長
1995年 東京農業大学 農学部長
1998年 東京農業大学 地域環境科学部長
1999年～2005年 7月 東京農業大学・短期大学部 学長
・2002年 4月～2004年 3月
日本私立短期大学協会 理事
・2004年 4月～2005年 6月
日本私立短期大学協会 常任理事
" 学生生活指導研究委員会 委員長

<コーディネーター>

東海大学短期大学部 事務室長	島 貫 憲 夫 氏
文化女子大学短期大学部 学生課長補佐	宮 本 朱 氏

閉会挨拶

日程

第1日・12月5日(月)	
9:15	受付
10:00	開会挨拶 オリエンテーション
10:30	基調講演
12:00	昼食・休憩
1:00	調査報告
1:30	セッション
3:15	会場移動・休憩
3:45	グループ討議
5:15	会場移動・休憩
6:00	情報交換 ネットワークの会
8:00	

第2日・12月6日(火)	
9:00	グループ討議
12:00	昼食・休憩
1:00	セッション
2:15	休憩
2:30	セッション
4:00	
4:10	閉会挨拶

第3日・12月7日(水)	
10:00	希望者のみ 短大見学会
12:00	現地集合・現地解散

短大見学会

◆ 開催日時

平成17年12月7日（水）

午前10時～正午（現地集合・現地解散）

◆ 見学先短大（一短大を選択）

大谷大学短期大学部

京都女子大学短期大学部

京都光華女子大学短期大学部（学寮施設を含む）

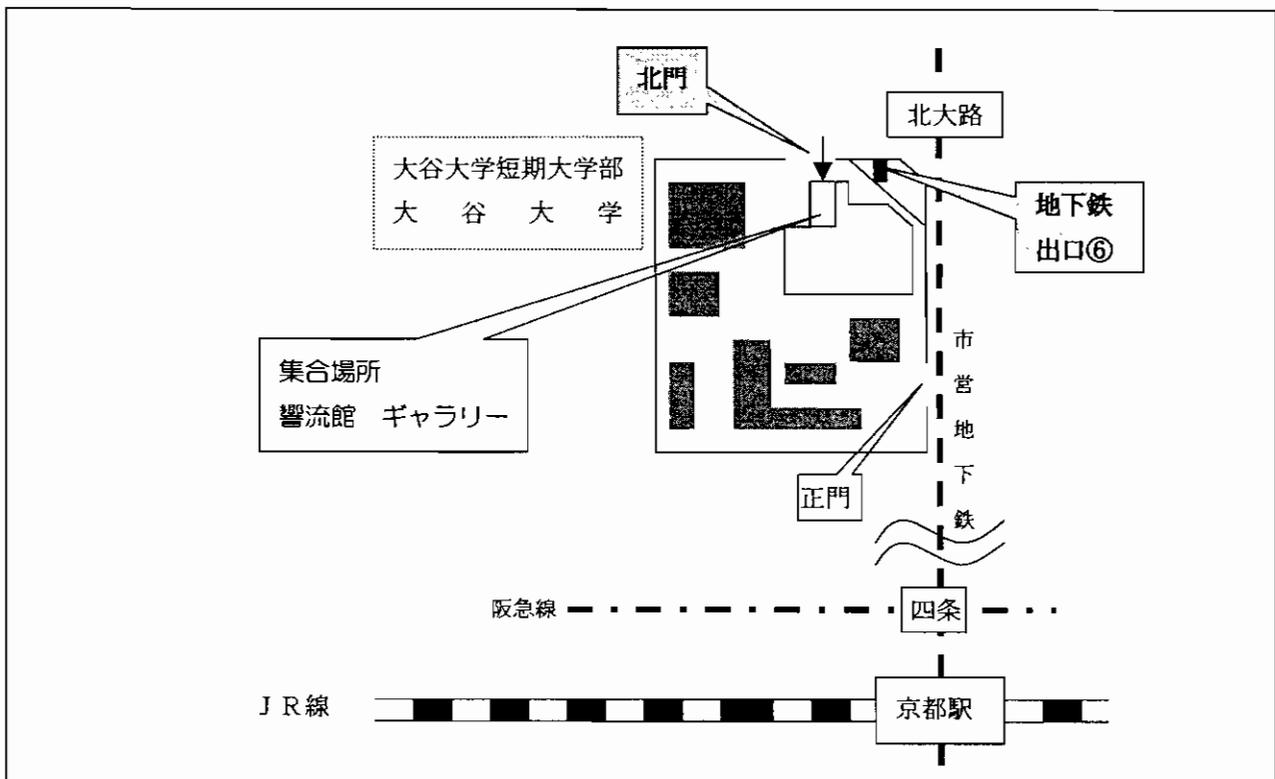
龍谷大学短期大学部

■ 希望者のみを対象

■大谷大学短期大学部

大谷大学短期大学部は、「仏教科」「文化学科」「幼児教育保育科」の3学科を設置し、人間としての教養と社会に出て役立つ実践的な知識を身につけ、学生一人ひとりが成長を実感できる充実した2年間を過ごすことをめざしています。また少人数教育により、教員と学生がよりよいコミュニケーションを図り、それぞれの個性が十分引き出せる環境を整えています。

大谷大学短期大学部は、各学科ごとに学生の研究室をおき学習体制を整えているほか、4年制大学である大谷大学とキャンパス・施設等を共有しており、蔵書78万冊、500席の図書館を利用できるなど、教育環境は充実しています。



大谷大学短期大学部

(担当・案内／学生支援部 学生課 重松康希氏)

京都市北区小山上総町

電話 075(411)8119

交通 京都駅 (JR 新幹線・東海道線、近鉄線)

烏丸四条 (阪急線) より

市営地下鉄 国際会館行き 乗車

北大路下車 出口⑥番すぐ左

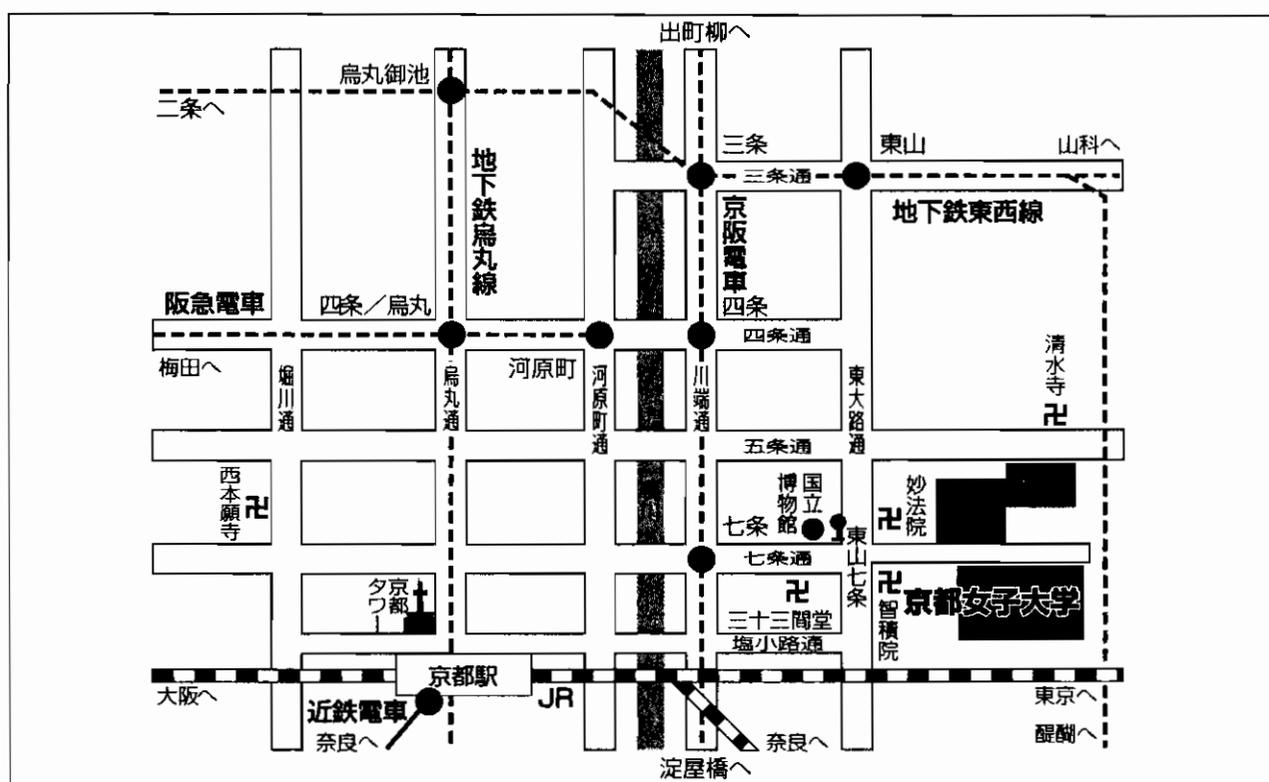
集合場所 北門 響流館 ギャラリー受付

■京都女子大学短期大学部

京都女子学園は、今年創立95年(創始106年)を迎えています。京都女子大学短期大学部は「親鸞聖人の体せられた仏教精神」を建学の精神とし、京都東山三十六峰の麓にキャンパスが広がっています。

現在、京都女子大学短期大学部には、文学科・初等教育学科・生活造形学科があり、約950名の学生が学んでいます。

本学は、アドバイザー制度、ラーニングセンター、就職支援等全般に亘って、きめ細かな指導をおこなっています。



京都女子大学短期大学部

(担当・案内 / 学生部 学生生活センター 望月・岩本氏)

京都市東山区今熊野北日吉町35

電話 075 (531) 7057

- 交通
- 京都駅(烏丸中央口) 市バス[D2]乗場から
206 208 100 番 に乗車、「東山七条」にて
下車、東へ徒歩5分。
 - 京都駅(八条口) から、プリンセスラインバス
11 12 番 に乗車、「京都女子大学前」で下車。

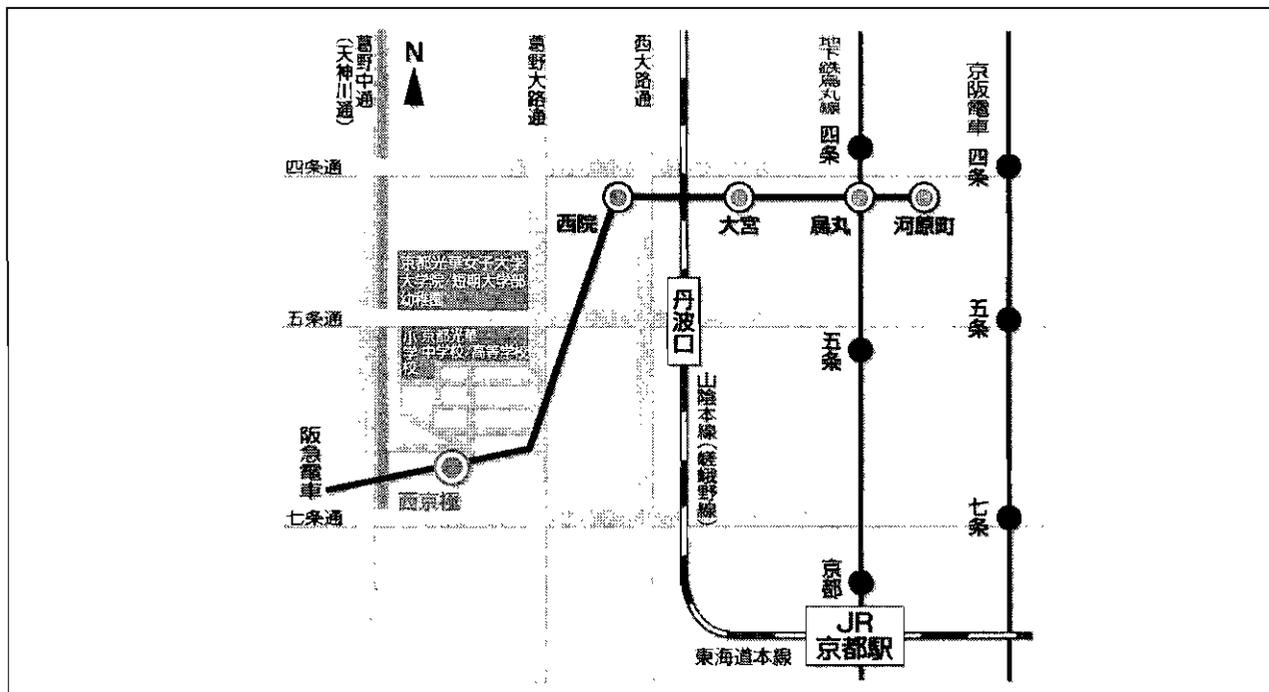
集合場所 L校舎 3階 会議室

■京都光華女子大学短期大学部

光華女子学園は、今年創立65周年を迎えます。京都光華女子大学短期大学部は、校訓「真実心」のもと、仏教精神による女子教育を実践し、さまざまなフィールドで活躍できる個性豊かな女性の育成を教育方針に掲げてきました。

学生サポート体制として、クラスアドバイザー制度、SA・TA制度、留学生のサポート（留学生チューター制度）、学生相談室・保健室の充実など、“こころと身体の安心”のためのさまざまな支援を四年制大学と共に行っています。また、キャンパス内には「真心寮」があり、現在 52名 の学生が寮生活を送っています。

来年度より「学生が自分の将来に合わせて自分で選択・編集できるカリキュラムを」という新しい発想に立ち、新たに「ライフデザイン学科」を開設し、同時に、新しい時代の保育士・幼稚園教諭の育成を目指す「こども保育学科」を新設する予定です。



京都光華女子大学短期大学部

(担当・案内 / 学生サービスセンター 真東徳博氏)

京都市右京区西京極葛野町38

電話 075 (325) 5319

- 交通
- 京都駅から地下鉄烏丸線に乗り、「四条」駅にて阪急電車に乗り換え、「西京極」駅下車、北へ徒歩7分。
 - 京都駅(烏丸中央口)から市バス 73 番に乗り、「光華女子学園前」下車。

集合場所 慈光館 6階 太子堂

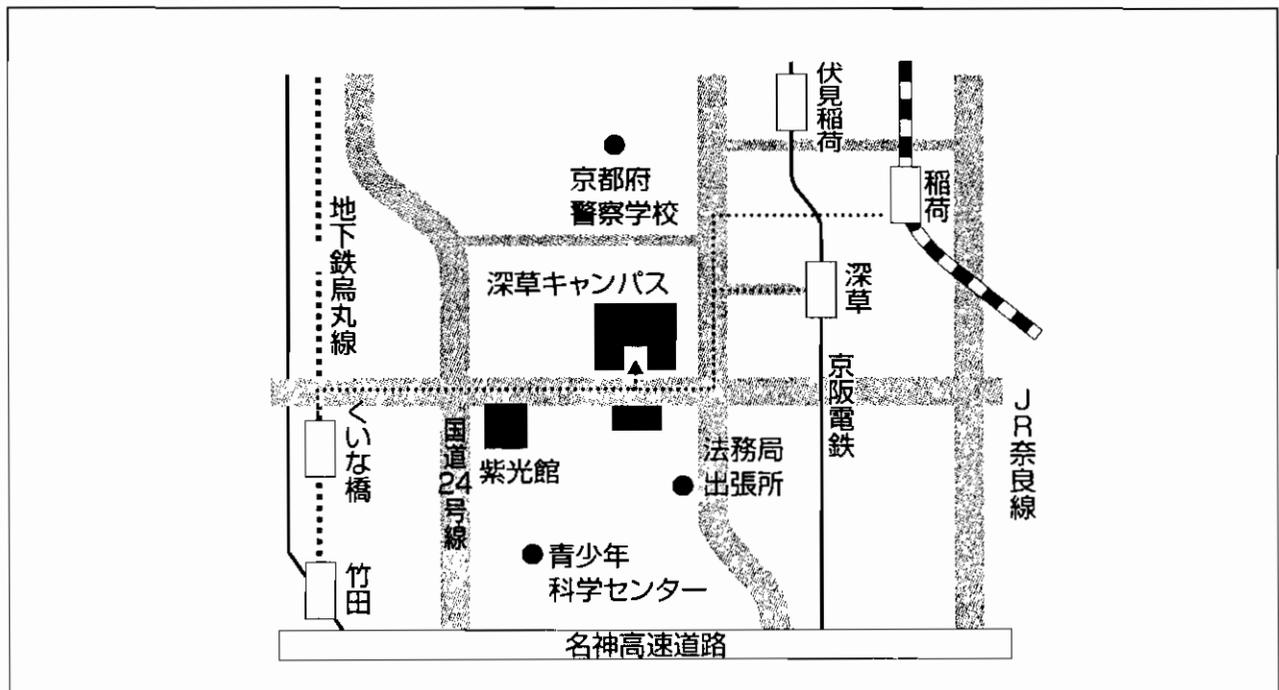
■龍谷大学短期大学部

龍谷大学は、文学部、経済学部、経営学部、法学部、理工学部、社会学部、国際文化学部、短期大学部の8学部を有する仏教系の総合大学です。

キャンパスは、京都市の深草キャンパスと大宮キャンパス、滋賀県大津市に瀬田キャンパスの3キャンパスがあります。今回ご案内するキャンパスは、京都市伏見区にあり、文学部(1・2年生)、経済学部、経営学部、法学部、短期大学の学生が集っています。

短期大学部は社会福祉学科の1学科で、学科内に社会福祉コース・児童福祉コース・健康福祉コースの3コースを設置しています。

当日は、短期大学専用の特別教室である介護実習室や入浴実習室、レクレーション指導室や電子ピアノ室を見学していただき、他の施設設備も見学していただく予定です。



龍谷大学短期大学部

(担当・案内 / 学生部 荒木氏)

京都市伏見区深草塚本町67

電話 075 (645) 7889

- 交通
- 京都駅から地下鉄烏丸線に乗車、「くいな橋」駅下車、東へ徒歩7分。
 - JR京都駅から、JR奈良線に乗車、「稲荷」駅下車、南西へ徒歩8分。

集合場所 4号館 1階 学生部

参加申込み等

- 申込み方法 消費税法との関連により、参加申込書は日本私立短期大学協会あてご送付願いますが、参加費の納入は所定の銀行振込み用紙(4枚綴り)により、財団法人私学研修福祉会あてご送金ください。

■ 参加費の納入先

(財)私学研修福祉会〔短大口〕
銀行口座 みずほ銀行市ヶ谷支店
普通預金 207-1365150

■ 申込書の送付先

〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館 別館6階)
日本私立短期大学協会 学生生活研修会 係

■ 納入について

- ・参加者が複数の場合は一括して、前記の指定口座にお振込みください。現金書留郵便や現金持参による納入はご遠慮ください。
- ・「振込金領収書」をもって、本研修会の参加費領収書に代えさせていただきます。日本私立短期大学協会からの領収書は発行しません。
- ・一度納入された参加費は原則として返還いたしません。
- ・参加費は消費税分を含んでおりますので、税額控除の対象となります。振込領収書は大切に保存(7年間)してください。

■ 申込みに際して

研修会参加申込みは、同封の「研修会参加申込書」に所要事項を記入し、裏面に参加費の「振込金受取書」(振込み用紙4枚目)を貼付してください。

⇒ 従って、申込みは次の順序となります。

①(財)私学研修福祉会へ

②日本私立短期大学協会へ



参加申込み締切り期日 平成17年11月2日(水)

* ご質問、お問合わせは日本私立短期大学協会事務局(中澤)まで。

TEL 03-3261-9055
FAX 03-3263-6950

宿泊

本研修会参加に伴う宿泊については、各自ご手配ください。

なお、研修会場の『京都東急ホテル』には、参加者のための特別料金にて優先的に宿泊できるよう特約いたしております。

ご希望の方は、電話にて必ず「私立短大学生生活指導担当者研修会に参加」と申し添えて、宿泊フロントに直接お申込みください。

※ 参加申込み締切り期日に合わせて、特約料金が解除されますので、早めにご連絡ください。

「京都東急ホテル」 電話 075(341)2411

〈宿泊料金〉 10,000円 (税サ込み・朝食付)

◎その外に、研修会場の「京都東急ホテル」から、地下鉄烏丸線を利用し、徒歩を含め約40分の距離に「京都ガーデンパレス」(京都御所 蛤御門前)があります。特約はしておりますが、室数・宿泊日に制限りがありますので、ご希望の方は早めに電話にて、必ず『短大協会の研修会に参加』と申し添えて、直接宿泊フロントにお申し込みください。

※参加申込み締切り期日に合わせて特約は解除されます。

「京都ガーデンパレス」 電話 075(411)0111

〒602-0912 京都市上京区烏丸通り下長者町上ル龍前町605番地

- 地下鉄烏丸線「丸太町駅」②番出口 左へ徒歩約10分
- 地下鉄烏丸線「今出川駅」⑥番出口 右へ徒歩約10分
- 「京都駅」より車で約15分

〈宿泊料金〉 (税込み・朝食別) ◎ 朝食料金 1,386円 (税込み)

*シングルルーム 6,352円

*デラックスシングルルーム 7,507円

*ツインルーム

2人で使用 11,550円

1人で使用 8,662円

※ 室タイプと料金は、予約の際、ご確認ください。

研修会場案内図

「京都東急ホテル」 (西本願寺北側)

〒600-8519 京都市下京区堀川通五条下ル柿本町580番地

電話 075 (341) 2411

- 「京都駅」から徒歩約20分
- 「京都駅」から車で約5分
- 地下鉄烏丸線「五条駅」から徒歩約10分



個人票

グループ討議を円滑に進めるため、
参加者お一人お一人によりご記入の上、必ず提出してください。

グループ討議に関するアンケート

短期大学名		参加者氏名	
-------	--	-------	--

グループ討議を進めるにあたって、いま、どのようなことに関心を寄せられているのかをお聞きし、運営の際の参考にさせていただきたいと思いますので、下記のキーワードの中で特に5つを選んで、その番号を で囲んでください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------------|
| 1 学生生活の充実 | 2 学生生活支援組織 | 3 自立できる人間教育 |
| 4 職業観 | 5 進路・就職指導 | 6 学生・教職員・保護者との連携 |
| 7 留学生支援 | 8 寮生活支援 | 9 新入生オリエンテーション |
| 10 自己点検評価 | 11 キャンパスライフ | 12 一元化された体制づくり |
| 13 キャンパスライフ | 14 総合的な学生指導 | 15 意識改革 |
| 16 教職協働 | 17 フリーター・ニート | 18 考えさせる場 |
| 19 教職員のサポート | 20 教職員のスキル | 21 多様化する学生の価値観 |
| 22 マナー教育 | 23 社会のニーズの変化 | 24 志願者減 |

今回のグループ討議に参加して、是非、情報交換したいこと、対応に苦慮していること、自分の思いを伝えたいことなどを下記にご記入ください。

(グループ討議を有意義なものにするために、是非とも忌憚のないご意見をお寄せください。)

--

本アンケートは、参加申込書と同封されても、
参加者個人個人でFAXにてご返送いただいても結構です。
日本私立短期大学協会 FAX番号 03(3263)6950番 担当・中澤まで

平成17年度私立短大学生生活指導担当者研修会参加申込書

都道府県名

<参加申込み締切り期日:11月2日>

短期大学名 _____

電話番号(連絡先) _____

FAX番号 _____

こちらからご連絡する場合がありますので、必ずご記入ください。

【記入上の注意】

1. 「経験年数」欄は、学生生活指導・学生部・学寮関係業務に従事(担当)した年数(1年未満は切捨て)を記入してください。
2. 「担当教科目」欄は、教員の場合のみ主たる科目を1つだけ記入してください。
3. 「参加回数」欄は、初めての方は「初」、2回目の方は「2」...と、数字で記入してください。
4. 「短大見学会」欄は、参加を希望する場合のみ、見学希望の短大を下記より一つ選びその番号を記入してください。
5. 「同一キャンパス内の四大併設の有無」欄は、該当する方を で囲んでください。
6. 「学生総数」の欄は、貴学の学生部(課)が対象とする学生数を意味します。
7. 「短大の男女構成」欄は、該当するものを で囲んでください。
8. 「短大の設置学科」欄は、全学科(専攻科、別科は除く)をご記入ください。
9. 裏面に必ず「振込金受取書」(振込み用紙4枚目)を貼付してください。
10. その他、連絡事項がありましたら、裏面の「通信欄」にご記入ください。

参加者氏名	学内職名	経験年数	担当教科目	参加回数	短大見学会 <small>希望者のみ記入</small>

短大の見学先

同一キャンパス内の四大併設の有無	短大の男女構成	短大の設置学科
有 無	女子のみ	
学生総数	男子のみ	
短大 四大 人 共 学		

1 大谷大学短大部
2 京都女子大学短大部
3 京都光華女子大学短大部 (学寮施設を含む)
4 龍谷大学短大部

枠内の必要事項は、参加者名簿等作成のため、漏れのないようご記入ください。

【送付先】

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 (私学会館別館6階)

日本私立短期大学協会「学生生活指導研修会」係